

学校教育目標

- ・創造する生徒
- ・心豊かな生徒
- ・鍛える生徒

藤花だより

平成 29 年度 11 号
平成 29 年 11 月 1 日
さいたま市立大宮西中学校
TEL048(624)4339
<http://omiyanishi-j.saitama-city.ed.jp>

「この気持ちは何だろう・・・」

校長 佐藤和男

10月の1ヶ月間、私は西中の子どもたちから感動や感謝の気持ちをいっぱいいただきました。

そのひとつが、10月25日（水）に行われた、さいたま市中学校駅伝競走大会です。さいたま市内の国立・私立中学校も含め男女共に60校が参加しました。今年は、直前の台風21号の影響で例年行われている会場から駒場運動公園の陸上競技場に変更しての実施となり、会場の関係で、襷（たすき）をつなぐ駅伝方式ではなく、それぞれの走者が参加校全員で走る記録会形式となりました。西中の成績は、男子37位、女子9位という結果でした。どの選手も雨が降る悪天候の中、大宮西中の代表として誇りを持ち、立派に走り抜き、心の中で襷（たすき）をつないでくれました。特に3年生は、自分の進路選択を控える中、一生懸命練習に取り組み、1、2年生を引っ張ってくれました。私はこの3年生のひた向きの姿にとっても感動しました。この姿が、来年度への襷（たすき）となり、先輩から後輩への襷（たすき）となって、西中の伝統を繋ぎ大きな飛躍につながればと願っています。皆さん、感動をありがとう！！



そして、先週の10月28日（土）に開催した校内合唱コンクールも感動の気持ちでいっぱいになりました。当日はたくさんの地域の方や保護者の方にご参観いただき、「心を洗われた思い」、「とても素晴らしかった」との多くの声をいただきました。10月に入ってから本格的な練習が始まり、校内に広がる子どもたちの歌声に、私は心が癒される思いで日々を過ごすことができました。これも子どもたちに感謝です。どのクラスも、一生懸命歌うその姿や美しいハーモニーに心打たれたのですが、特に、3年生の課題曲「春に」は各クラスそれぞれが素晴らしく、最後の合唱コンクールに向けた3年生の意気込みや熱意が伝わってきました。この曲の作詞は、多くの名作を残した、谷川俊太郎です。特に私は、青春期の不安と期待が入り混じった気持ちを素直に表現した、2番の歌詞が好きなので紹介します。

この気持ちは何だろう この気持ちは何だろう あの空のあの青に手をひたしたい
まだ会ったことのないすべての人と 会ってみたい話してみたい
明日と 明後日が一度に来るといい ぼくはもどかしい 地平線のかなたへと歩き続けたい
そのくせじっとしていたい この草の上でじっとしていたい
声にならない叫びとなってこみ上げる この気持ちは何だろう

話は変わって、11月15日は本校の開校記念日です。昭和50年4月1日、大宮西中学校は、生徒数324名、学級数9、職員19名で、三橋中学校の一部を借りて開校しました。以前は、開校記念日が休校でしたので、折に触れ学校の歴史や多くの先輩や地域の方々の努力などを紹介する機会もあったのですが、職員ですら忘れがちです。改めて、先人たちへの感謝の気持ちと6308名の卒業生、そして471名の在校生のさらなる活躍を祈りたいと思います。

<お知らせ>

- ・安全点検の結果、特に異常は認められませんでした。
- ・11月のゆうちょ銀行口座からの振替は、11月13日（月）です。11・12月分の給食費となります。前日までに全学年9,600円と手数料の10円を、ご準備ください。

<さいたま市教育委員会よりお知らせ>

- ・さいたま市では、体罰・暴言等不適切な指導に関する相談票を、さいたま市のホームページに掲載しております。必要に応じて以下のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.city.saitama.jp/003/002/011/p056013.html>